

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃～85℃（注1）	保存温度範囲	-10℃～60℃（注2）	
	電 圧	AC 50 V	使用湿度範囲	相対湿度85%以下	
	電 流	0.5 A	保存湿度範囲	（但し結露の無いこと）	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA（DC又は 1000 Hz）以下で測定する。	70 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	100 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力： 98.0 N以下 引抜力： 12.0 N以上	○	—
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗：初期からの変化量 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	—
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗：初期からの変化量 20 mΩ以下 ②絶縁抵抗：100 MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 → 30 分 を 5 サイクル 試験する。 （槽の移し換え時間は 2～3 分）		○	—
	耐熱性	温度 85℃中に 96 時間放置する。	①接触抵抗：初期からの変化量 20 mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。		○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25 ± 2℃、75 ± 5 %RH 96 時間放置する。 （試験規格：JIS C 60068）	①コネクタ機能を損なうような腐食が ないこと。 ②接触抵抗：初期からの変化量 20 mΩ以下	○	—
	はんだ耐熱性	【リフロー】ピーク温度 MAX 260℃ 220℃以上 60秒以内		外観の変形及び端子などに著しいガタが ないこと。	○
		【はんだごて】こて温度 360℃ はんだ付け時間 5 秒以内	○		—
はんだ付け性	はんだ温度 240 ± 3℃、浸せき時間 3 秒の はんだ付けを行う。	はんだ浸漬面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考			承認	HT. YAMAGUCHI	20200818
注1. 通電時の温度上昇を含みます。			検 図	HT. YAMAGUCHI	20200818
注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。			担 当	KS. NAKAJIMA	20200818
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402（IEC-60512）を適用している。			製 図	KS. NAKAJIMA	20200818
注 QT：確認試験 AT：製品検査 ○：適用項目			図番	SLC-336324-20-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	FX20-140P-0.5SV15 (20)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL570-1006-4-20	△ 1/1